

『神』は犠牲を好まない

『神』の^{ため}に行った事は、あとで10倍にでも100倍にでもして返して下さいます。

- 5 『神』は人間に借りを作ったままにはなさないのです。
『神』のために行った事や、“喜捨”に対するご守護は、その人に最も必要な事に対して下さいます。
『神』は、その人の向上に本当に役に立つような形で返して下さいます。

10

錬金術^{れんきんじゆつ}という言葉^{ことば}を聞いた事^{こと}があると思^{おも}いますが、辞書^{じしょ}には“化学的手段^{もち}を用いて貴金属^{ききん}（特に金^{きん}）を精錬^{せいれん}しようとする試みの事^{こと}”とあります。

15

しかし、この言葉^{ことば}の語源^{ごげん}は実はキリスト教^{きりすとけう}から発生^{はつじやう}したものなのです。

その云われは、『神』に喜捨^{きしや}をすと、たちまちの内^{うち}に大きなご守護^{ごしゆご}を戴^{いた}けて、大きな収入^{しゆいぬ}を戴^{いた}けるのです。

すると更に大きな喜捨^{きしや}が許^{ゆる}されて、更に大きなご守護^{ごしゆご}を戴^{いた}けるのです。

そうやってどんどん、どんどん繰り返^{くりか}して拡大^{たいふく}して行って、大富豪^{たいふごう}にまでなれるという事^{こと}を表^{あらわ}した言葉^{ことば}なのです。

20

モーゼ^{しやか}、釈迦^{しやくか}、キリスト^{きりすと}が真理^{しんり}を説^とく活動^{かつどう}に協力^{きやうりき}した方々^{かたがた}の子孫^{こすん}が、現在^{げんざい}の中近東^{ちゆうきんとう}やインド^{いんと}の大富豪^{たいふごう}になっているのです。

25

“喜捨^{きしや}”とは、金銭^{きんせん}又は物品^{ぶつひん}を『真理^{しんり} = 神理^{しんり}』を世界^{せかい}に遍^{あまね}く弘^{ひろ}める為^{ため}にお役^{やく}に立たせて下さい。と『神』に捧^{たも}げることです。

“喜捨^{きしや}”したお金^{おきん}は、『神』から見て、現在のその方に必要^{ひつやう}とする形^{かたち}で戻^{かえ}ってきます。つまり、必ずそのまま金銭^{きんせん}として戻^{かえ}るという訳^{わけ}ではありません。

30

※ 詳しくは ■喜捨^{きしや}《92P》にて解説

35

人知^{じんち}が神^{かみ}の智慧^{ちえ}を邪魔^{じやま}してしまい、価値^{かち}を下^{くだ}げてしまうことがあります。

例^{れい}) 白金^{はつきん}（プラチナ）に原子炉^{げんしろう}で中性子^{ちゆうせいし}を当てると金^{きん}に変化^{へんか}します。

→金^{きん}よりも白金^{はつきん}の方が高価^{たかひや}ですから、その技術^{ぎじゆつ}では、白金^{はつきん}の価値^{かち}を下^{くだ}げてしまいます。

これは、人知^{じんち}では利益^{りやく}にならないことの一^{ひと}例^{れい}です。

40